

<記入例>

※1ページ目が記入例で、2ページ目が提出用です。

※本人記入不可

実務成績証明書

本 籍 地 (都道府県名のみ) ○○県

現 住 所 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

氏 名 免許 華子

昭和
平成 ○○年 ○月 ○日生

免許取得方法に応じて、最低在職年数を超える勤務期間の確認に必要であるため、正確に記入すること。

生年月日は和暦で記入すること。

勤務期間	勤務した学校名及び職名	担当教科名 (又は特別支援教育領域名)	勤務成績
自平成16年4月1日 至平成22年3月31日	●●町立●●中学校 教諭 ●●町立●●中学校 講師		※下記 注1のとおり、「良好」か「良好でない」かのいずれかを記入してください。
自 年 月 日 至 年 月 日			
自 年 月 日 至 年 月 日			
自 年 月 日 至 年 月 日			
自 年 月 日 至 年 月 日			
勤務しなかった期間	事由(休職、産休、育休、病休等の別)	勤務しなかった期間	事由(休職、産休、育休、病休等の別)
自平成18年9月6日 至平成18年12月25日	産前・産後休暇	自 年 月 日 至 年 月 日	
自平成18年12月26日 至平成20年3月31日	育休	自 年 月 日 至 年 月 日	
自 年 月 日 至 年 月 日			

訂正する場合、二重線で消し、訂正印(公印)を押印すること。
※修正テープ等は×

「職名」の記入漏れが多いので注意すること!

- ・上記の「勤務期間」のうち、休職、産休、育休及び病休等で「勤務しなかった期間」を記入すること。
- ・実務従事期間の算定に必要なため、記入漏れに注意すること。

上記のとおり副申する。

平成○○年▽▽月△△日

所属長(学校長・園長)の副申

●●町立●●中学校長 □□ □□

公印
印

上記のとおり証明する。

平成○○年▽▽月◇◇日

所轄の市町村教育委員会の証明(熊本県立学校は空欄、私立学校は理事長または設置者)

●●町教育委員会

公印
印

- 注
- 1 勤務成績欄は、良好又は良好でない旨記入すること。
 - 2 日本人学校に派遣されていた期間については、別に文部科学大臣から証明を受けること。
 - 3 私立学校の教職員は、学校法人にあっては理事長、それ以外の場合にあっては設置者から証明を受けること。

※ 注意事項をよく読んで記入すること。

※ 証明書の内容について訂正する場合は、証明欄に押印された公印(例「○○市教育委員会」)で訂正印を押印すること。

※ 学校での勤務が無い場合の副申者・証明者については、事前に県教育委員会へ相談すること。

実務成績証明書

本 籍 地 (都道府県名のみ)

現 住 所

氏 名

年 月 日生

勤務期間	勤務した学校名及び職名	担当教科名 (又は特別支援教育領域名)	勤 務 成 績
自 年 月 日 至 年 月 日			
自 年 月 日 至 年 月 日			
自 年 月 日 至 年 月 日			
自 年 月 日 至 年 月 日			
自 年 月 日 至 年 月 日			
自 年 月 日 至 年 月 日			
自 年 月 日 至 年 月 日			
勤務しなかった期間	事由(休職、産休、育休、病休等の別)	勤務しなかった期間	事由(休職、産休、育休、病休等の別)
自 年 月 日 至 年 月 日		自 年 月 日 至 年 月 日	
自 年 月 日 至 年 月 日		自 年 月 日 至 年 月 日	
自 年 月 日 至 年 月 日		自 年 月 日 至 年 月 日	

上記のとおり副申する。

年 月 日

所属長 職 氏名

印

上記のとおり証明する。

年 月 日

所轄庁 (市町村教育委員会) 又は理事長

印

- 注 1 勤務成績欄は、良好又は良好でない旨記入すること。
 2 日本人学校に派遣されていた期間については、別に文部科学大臣から証明を受けること。
 3 私立学校の教職員は、学校法人にあっては理事長、それ以外の場合にあっては設置者から証明を受けること。